平成19年度人間総合科学研究科最先端医学研究セミナー

日時：2007年9月28日（金）17:00～

場所：医学群棟4階4A411

(株)島津製作所ライフサイエンス研究所
東京大学 医科学研究所 先端臨床プロテオミクス共同研究ユニット
佐藤孝明 先生

* 本セミナーは最先端医学研究セミナーの単位に換算されます。

「疾患プロテオミクス研究の現状と展望」

1. パラフィンセクションを用いた組織MSイメージング解析法

組織MSイメージング解析は1997年にCaprioliらによって報告されましたが、更にretrospective studiesが可能で汎用性のある病理診断等に应用する為にはパラフィン切片を用いた解析が有効です。我々は、癌組織パラフィン切片を適切に前処理することにより、凍結切片を用いた質量分析結果と同等の結果を得ることに成功しましたので紹介致します。

2. 卵巣癌組織特異的バイオマーカー探索

卵巣癌の個性診断や早期診断の標的となる分子を同定することを目的に、慶應義塾大学医学部産婦人科学教室にて摘出された上皮性卵巣腫瘍(EOC)組織(明細胞腺癌, 類内膜腺癌, 粘液性腺癌, 漿液性腺癌)のプロテオーム比較解析を行いました。また、これらの発現プロファイルデータベースをもとに、卵巣癌およびApoptosisに関連する既知のゲノム情報に、新たに得られた蛋白質発現情報を加えて診断用Combimatrix社カスタムDNAチップを作成しましたので、最新の解析結果を紹介致します。

3. Immuno-beads MS法による高感度マーカー検出法

血清中より極微量のバイオマーカーを検出する方法として、モノクローナル抗体結合ビーズを用いた免疫複合体をビーズから分離することなく、直接MS検出することに成功しましたので紹介致します。

共催：筑波分子医学協会（協会長、入江賢児）

連絡先 先端応用医学専攻：大根田修（2938）

分子情報・生態統御医学専攻：渋谷彰（3281）

社会環境医学専攻：熊谷嘉人（3133）